

第4次総合計画進捗評価 総評

湯梨浜町長 宮脇 正道 様

令和6年10月16日に湯梨浜町総合計画評価委員会を開催、第4次総合計画における令和5年度の進捗状況について審議致しました。

その結果をまとめ、下記のとおり総評として報告致します。

記

1 総評

総じて、事業計画は順調に推進されており、自己評価も概ね適正にされている。そのことを前提に、以下の留意点を指摘しておく。

- (1) K G I による数値化された目標の達成率が低く、評価が低いものでも、課題に対する対応、適切な対処を行っているものがある。最終年度までは経過年度で、数値に示すことができない場合があるからである。

(K G I 22, 26)

- (2) 達成率が既に100%となっている項目については、

- ・外的要因により、次年度以後に達成率が下落する可能性があるものがあり、計画の推進を怠らないこと。

(K G I 27, 35, 38)

- ・K G I に掲げる全体目標に沿う形で、現在評価項目としているモノのほかにも整備を進めていくことは必要である。

(K G I 7, 14, 37)

2 その他

委員から提案のあった意見を付す。

- (1) K G I 1 交通環境の充実のうち、共助交通については、無償交通で実施するにはハードルが高い。

買物バスやタクシーチケットの見直しなども含めて、次回の目標設定に当たって検討が必要。

また、地区で実施している買い物ツアーといった情報は、区長のみならず、関係者に届くような情報伝達が必要。

- (2) K G I 19 観光客の誘致促進の関連として、龍鳳閣の前の未活用となっている多目的温泉保養施設レストランや、道の駅にある空きテナントの活

用を進められてはどうか。

- (3) K G I 20 地域資源を活用した観光商品の開発では、漁協者の理解を得ながら、ドラゴンカヌー大会のほか、東郷池の水面利用を観光商品として推進することを提案したい。
- (4) K G I 22 羽衣石城の史跡指定について、歴史的な価値も大事だが、羽衣石城から東郷池を眺望する景観を含めた情報発信に努めて欲しい。
- (5) 松崎地域の内水対策事業は、県の東郷池護岸工事の完了と同時に、町の対策が講じられるように努められたい。

令和6年11月25日

湯梨浜町総合計画評価委員会
会 長 山田 修平